

日本共産党埼玉県議団ほっとNEWS

NO. 29

2011年12月 5日 日本共産党埼玉県議団

県立小児医療センター移転問題、重大な局面へ

県議会に小児移転のための議案提出される
岩槻区・蓮田市の移転説明会が開催決定

蓮田市で県立小児医療センターを
考える学習会

12月17日午前9時蓮田駅東口
よりパレードよびかけ

埼玉県議会12月定例会に、県立小児医療センター（さいたま市岩槻区）の移転計画先である新都心8-1A街区の土地鑑定評価議案が提出され、同センター移転問題は重大な局面を迎えています。12月17日には県主催の移転問題説明会が同センター隣接の岩槻特別支援学校体育館で開かれます。

それに先立ち、移転計画についての学習会（同センターを考える会主催）が、12月3日蓮田市内で開かれ、約30名が集まりました。はじめに日本共産党岸尾悦子市議からあいさつと経過説明があり、講師の党埼玉県議団の馬場民子事務局員が、移転計画の概要を説明しました。同時に同センターの地元である東部北地域と中央地域は、地域周産期母子医療センター（胎児・新生児と母親の高度医療機関）ばかりか新生児センターすらなく、3次救命救急センターもない医療資源の乏しい地域であることや、同センターに通う難病患者的家族から不安の声が上がっていること、新都心の土地が狭く、特別支援学校などに十分な環境が保証できるのか疑問であることなど語りました。

県立小児医療センター移転説明会
岩槻区

12月10日（土） 13:30

岩槻コミュニティセンター

蓮田市

12月17日（土）10:00

岩槻特別支援学校体育館（センター隣接）

新都心周辺の渋滞が心配 難病患者的保護者「存続署名」呼びかけて

参加者である難病患者的保護者は「病院は予約がなかなかとれない。新都心へ行ってさらに患者が殺到するのではないか。また新都心は周辺の渋滞が心配。伊奈町でセンター存続を求める署名を集めている。多くの区で回覧板でまわしてくれ、自分の手を離れ町内を回り始めている。」と語りました。蓮田市に請願を提出した男性は「センターを建設する際に地権者の多大な協力があった。東部から病院をなくすことは許せない」として「12月の説明会の前段として朝9時から蓮田駅東口に集合して、存続を求めるパレードをしよう」と提案し歓迎されました。

